

地方公営企業の抜本的な改革等の取組状況（平成28年3月31日現在）

団体名	事業名	公営企業の名称
阿賀野市	観光施設事業・その他事業	五頭連峰少年自然の家

実施状況

抜本的な改革の取組状況							現行の経営体制を継続 ○
事業廃止	民営化・民間譲渡	地方独立行政法人化	広域化・広域連携	PFI	指定管理者制度	包括的民間委託	
							○

現行の経営体制・手法を継続する理由、今後の方向性

（現行の経営体制・手法を継続する理由）

検討の結果、当施設は分類上休養宿泊施設となっているが、教育施設と位置づけており、利益を得る施設ではないため、現行の体制を継続することが望ましいと考えるため。

（今後の経営改革の方向性等）

現在、教育施設としての位置づけで施設継続を検討しているため、今後の方向性として継続決定後は、企業会計からの変更をする予定である。